

# 新しいHACCP制度化への対応

(13)

NPO法人日本食品安全検証機構(JVO)

理事長代行 遠藤 洋一  
理事 赤池 洋

## eラーニング 誕生の必然性

HACCPに関するeラーニングは、欧米HACCP先進国でも開発され広く活用されている。なぜ、業種別、施設別、階層別等の集合型研修(WS)とは別にHACCPeラーニングが独立して誕生し、活用されているのか。

それは、eラーニングを省略して、いきなり集合型研修に参加してもわが国だけが例外ではなく、実行性に乏しく期待する研修効果が得られないからである。そこで、

受講者側の職業履歴や研 究履歴と密接に連動する「HACCP研修の登竜門」としては、CO de xが示すHACCP 集計結果を表6に集約し

ける選択方式のテストを 行ない、各章ごとの学習 内容が確実に習得できる スタイルとした。

過去4年間の共通講座 200名、 畜種別講座が200名、 延べ440名にのぼる。

「HACCPリードイン ストラクター認定証」等 が制度化され認知されて いる。わが国でも現場に 即した各業界が求める実 践的カリキュラムを検討 する時が来るかもしれない。

## 今後の課題・実践的HACCPの教育体制(段階4その3)

別名、集合研修の初期 ACCPに基づく衛生管 理システムの構築から、 制度化に伴って、HA 改善された「PDCAサ 課せられた新しい役割に おいては、経営トップに 制度化は、畜産・食品業 界にとってはこれまでに ない生食文化の国でもあ 策に回ること、制度化を らない付加価値(安全 武器に攻めの道を選ぶの 性)をもって対等の地位 を確保しつつ、わが国の GDP(国内総生産)に 貢献する等、様々な手法 が注目を集めている。 また、経営に対する攻

別名、集合研修の初期 ACCPに基づく衛生管 理システムの構築から、 制度化に伴って、HA 改善された「PDCAサ 課せられた新しい役割に おいては、経営トップに 制度化は、畜産・食品業 界にとってはこれまでに ない生食文化の国でもあ 策に回ること、制度化を らない付加価値(安全 武器に攻めの道を選ぶの 性)をもって対等の地位 を確保しつつ、わが国の GDP(国内総生産)に 貢献する等、様々な手法 が注目を集めている。 また、経営に対する攻

別名、集合研修の初期 ACCPに基づく衛生管 理システムの構築から、 制度化に伴って、HA 改善された「PDCAサ 課せられた新しい役割に おいては、経営トップに 制度化は、畜産・食品業 界にとってはこれまでに ない生食文化の国でもあ 策に回ること、制度化を らない付加価値(安全 武器に攻めの道を選ぶの 性)をもって対等の地位 を確保しつつ、わが国の GDP(国内総生産)に 貢献する等、様々な手法 が注目を集めている。 また、経営に対する攻

別名、集合研修の初期 ACCPに基づく衛生管 理システムの構築から、 制度化に伴って、HA 改善された「PDCAサ 課せられた新しい役割に おいては、経営トップに 制度化は、畜産・食品業 界にとってはこれまでに ない生食文化の国でもあ 策に回ること、制度化を らない付加価値(安全 武器に攻めの道を選ぶの 性)をもって対等の地位 を確保しつつ、わが国の GDP(国内総生産)に 貢献する等、様々な手法 が注目を集めている。 また、経営に対する攻

別名、集合研修の初期 ACCPに基づく衛生管 理システムの構築から、 制度化に伴って、HA 改善された「PDCAサ 課せられた新しい役割に おいては、経営トップに 制度化は、畜産・食品業 界にとってはこれまでに ない生食文化の国でもあ 策に回ること、制度化を らない付加価値(安全 武器に攻めの道を選ぶの 性)をもって対等の地位 を確保しつつ、わが国の GDP(国内総生産)に 貢献する等、様々な手法 が注目を集めている。 また、経営に対する攻

別名、集合研修の初期 ACCPに基づく衛生管 理システムの構築から、 制度化に伴って、HA 改善された「PDCAサ 課せられた新しい役割に おいては、経営トップに 制度化は、畜産・食品業 界にとってはこれまでに ない生食文化の国でもあ 策に回ること、制度化を らない付加価値(安全 武器に攻めの道を選ぶの 性)をもって対等の地位 を確保しつつ、わが国の GDP(国内総生産)に 貢献する等、様々な手法 が注目を集めている。 また、経営に対する攻

別名、集合研修の初期 ACCPに基づく衛生管 理システムの構築から、 制度化に伴って、HA 改善された「PDCAサ 課せられた新しい役割に おいては、経営トップに 制度化は、畜産・食品業 界にとってはこれまでに ない生食文化の国でもあ 策に回ること、制度化を らない付加価値(安全 武器に攻めの道を選ぶの 性)をもって対等の地位 を確保しつつ、わが国の GDP(国内総生産)に 貢献する等、様々な手法 が注目を集めている。 また、経営に対する攻

別名、集合研修の初期 ACCPに基づく衛生管 理システムの構築から、 制度化に伴って、HA 改善された「PDCAサ 課せられた新しい役割に おいては、経営トップに 制度化は、畜産・食品業 界にとってはこれまでに ない生食文化の国でもあ 策に回ること、制度化を らない付加価値(安全 武器に攻めの道を選ぶの 性)をもって対等の地位 を確保しつつ、わが国の GDP(国内総生産)に 貢献する等、様々な手法 が注目を集めている。 また、経営に対する攻

別名、集合研修の初期 ACCPに基づく衛生管 理システムの構築から、 制度化に伴って、HA 改善された「PDCAサ 課せられた新しい役割に おいては、経営トップに 制度化は、畜産・食品業 界にとってはこれまでに ない生食文化の国でもあ 策に回ること、制度化を らない付加価値(安全 武器に攻めの道を選ぶの 性)をもって対等の地位 を確保しつつ、わが国の GDP(国内総生産)に 貢献する等、様々な手法 が注目を集めている。 また、経営に対する攻

別名、集合研修の初期 ACCPに基づく衛生管 理システムの構築から、 制度化に伴って、HA 改善された「PDCAサ 課せられた新しい役割に おいては、経営トップに 制度化は、畜産・食品業 界にとってはこれまでに ない生食文化の国でもあ 策に回ること、制度化を らない付加価値(安全 武器に攻めの道を選ぶの 性)をもって対等の地位 を確保しつつ、わが国の GDP(国内総生産)に 貢献する等、様々な手法 が注目を集めている。 また、経営に対する攻

表6 主なアンケート集計結果

1) 赤ペン先生に感謝します。HACCPは難しい。コストがかかる。人手や手間がかかる。これまでの経験だけを優先した勝手な判断でした。なぜHACCPが国際システムとして世界各国で広く定着したのか、自問自答の中でのeラーニング(畜種別)だったが、作業の一つひとつが日常作業そのものだった。数々の疑問を一気に払拭できた。
2) 赤ペン先生とのやり取りから、HACCPは学問ではなく現場作業であることを実感できた。特に畜種別講座の原則1に相当する危害要因分析の手順・要領が理解できた。HACCPの特徴ともいうべき理論的、かつ合理的な手順・要領が無駄を省き、その成果として従業員教育に大きく貢献した。
3) 集合研修(ワークショップ・階層別研修・ケーススタディー等)の事前研修プログラムとして活用すれば、受講者の知識・技術やHACCPスキルのバラつきも改善できるはずだ。

別名、集合研修の初期 ACCPに基づく衛生管 理システムの構築から、 制度化に伴って、HA 改善された「PDCAサ 課せられた新しい役割に おいては、経営トップに 制度化は、畜産・食品業 界にとってはこれまでに ない生食文化の国でもあ 策に回ること、制度化を らない付加価値(安全 武器に攻めの道を選ぶの 性)をもって対等の地位 を確保しつつ、わが国の GDP(国内総生産)に 貢献する等、様々な手法 が注目を集めている。 また、経営に対する攻

別名、集合研修の初期 ACCPに基づく衛生管 理システムの構築から、 制度化に伴って、HA 改善された「PDCAサ 課せられた新しい役割に おいては、経営トップに 制度化は、畜産・食品業 界にとってはこれまでに ない生食文化の国でもあ 策に回ること、制度化を らない付加価値(安全 武器に攻めの道を選ぶの 性)をもって対等の地位 を確保しつつ、わが国の GDP(国内総生産)に 貢献する等、様々な手法 が注目を集めている。 また、経営に対する攻

別名、集合研修の初期 ACCPに基づく衛生管 理システムの構築から、 制度化に伴って、HA 改善された「PDCAサ 課せられた新しい役割に おいては、経営トップに 制度化は、畜産・食品業 界にとってはこれまでに ない生食文化の国でもあ 策に回ること、制度化を らない付加価値(安全 武器に攻めの道を選ぶの 性)をもって対等の地位 を確保しつつ、わが国の GDP(国内総生産)に 貢献する等、様々な手法 が注目を集めている。 また、経営に対する攻

別名、集合研修の初期 ACCPに基づく衛生管 理システムの構築から、 制度化に伴って、HA 改善された「PDCAサ 課せられた新しい役割に おいては、経営トップに 制度化は、畜産・食品業 界にとってはこれまでに ない生食文化の国でもあ 策に回ること、制度化を らない付加価値(安全 武器に攻めの道を選ぶの 性)をもって対等の地位 を確保しつつ、わが国の GDP(国内総生産)に 貢献する等、様々な手法 が注目を集めている。 また、経営に対する攻

(完)

・防の術は異なるにして も、避けて通れないのが 教育・訓練である。7原則 (12手順)のうち手順1に 相当するHACCPチー ムの編成では、HACCP 専門チームの知識、 技術、スキルアップ等の 運用に関する標準化・平 準化が求められる。多分 野に及ぶ数々の作業は、 個別の個人的作業ではな くチーム作業が原則であ る。質の高いスキル集団 は、これから始まる国際 舞台において台頭する食 品企業の大きな財産・財 宝とされている。惜しみ ない教育投資こそが世界 を席巻する武器となる。 現場密着型のeラーニ ングは、国際的にも教育・ 訓練の必須要件として高 い評価を受けている。わ が国においても、実践的 HACCP普及のツール として利用が広がること を期待したい。